

事例11

< 事例概要 >

出血

- ① 50 歳代、左肺癌末期、左鎖骨下皮膚転移の緩和ケア患者。
- ② 栄養管理、末梢血管確保困難のため、中心静脈ポートを造設予定。
- ③ BMI 24.3 kg/m<sup>2</sup>。脱水あり。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 右鎖骨下静脈より透視下で穿刺。3 回目の穿刺で逆血を確認できたが、ガイドワイヤーは挿入できず。呼吸困難感と経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) 90% のため挿入を中止。透視室から病棟へ移動中に呼吸停止となり、穿刺から約2 時間半後に死亡。
- ⑤ 死因は、右鎖骨下静脈損傷による出血、右胸腔出血に伴う呼吸不全（疑い）。死亡時画像診断 (Ai) 無、解剖有（胸腔内血液約1400 mℓ）。